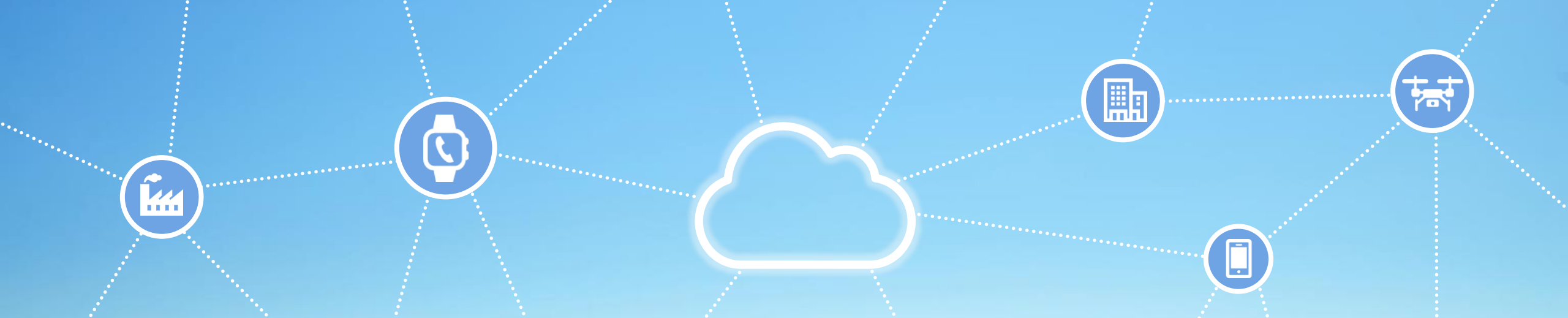


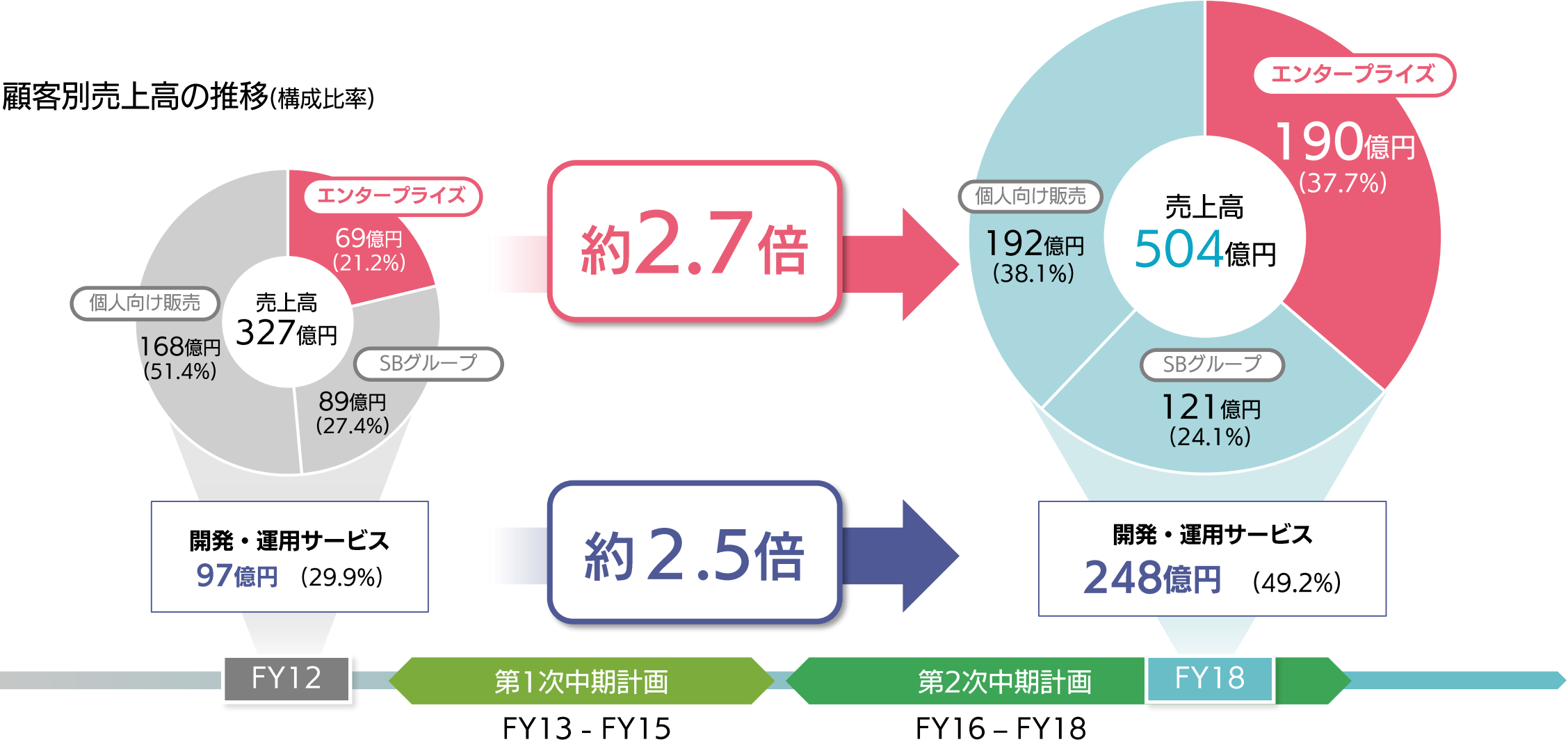


中期経営計画 SBT Transformation 2021



エンタープライズ向けの開発案件、運用・サービスに注力

顧客別売上高の推移(構成比率)



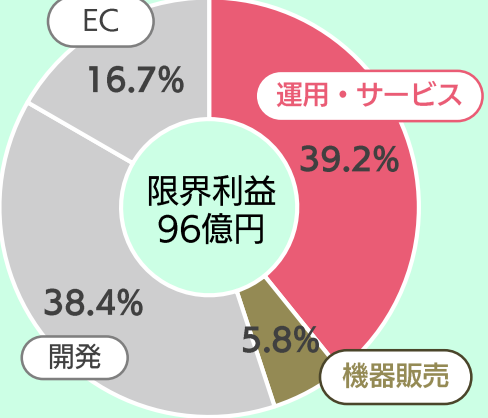
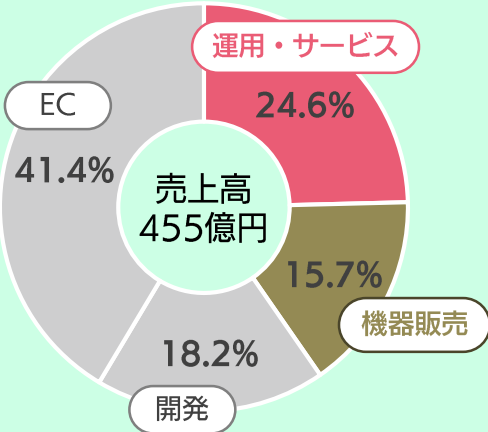
第2次中期経営計画における変化（SBT単体）

FY16

売上構成比率

限界利益構成比率

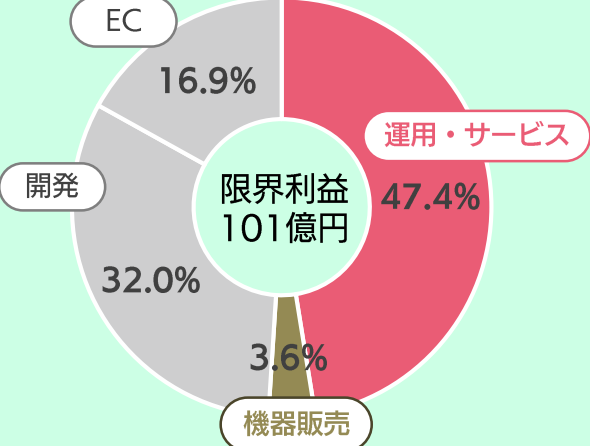
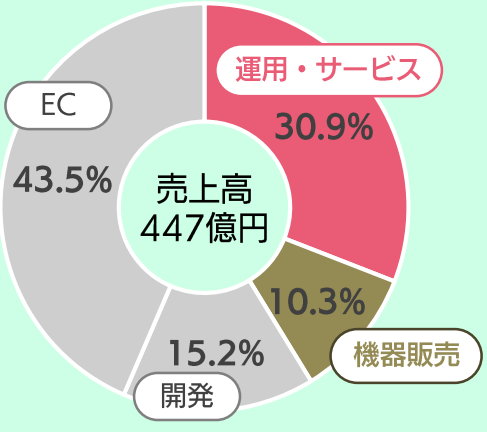
形態別



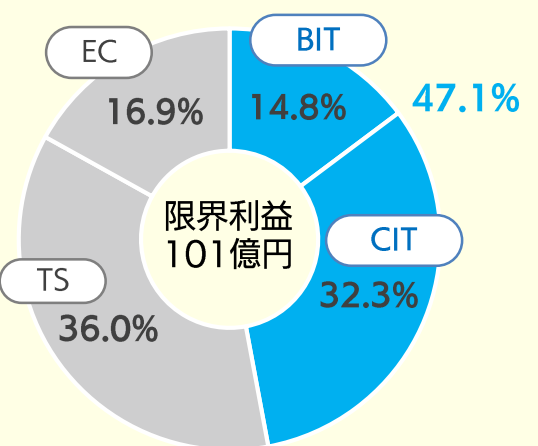
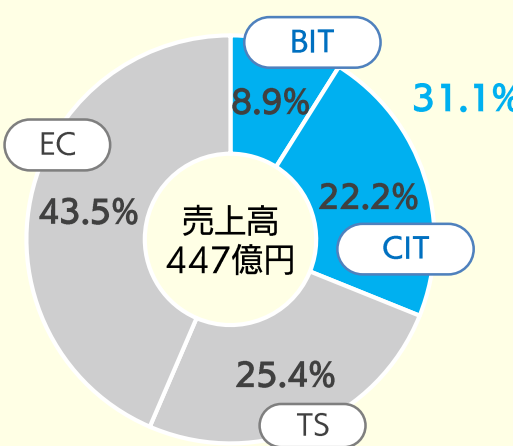
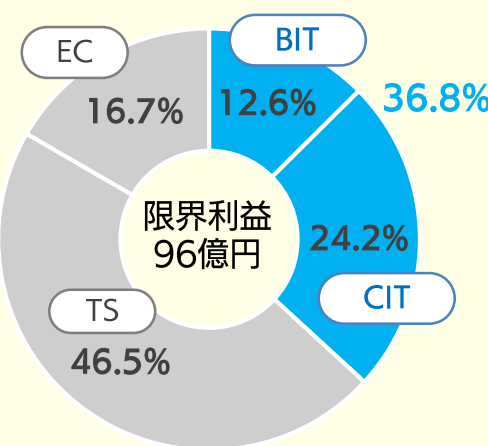
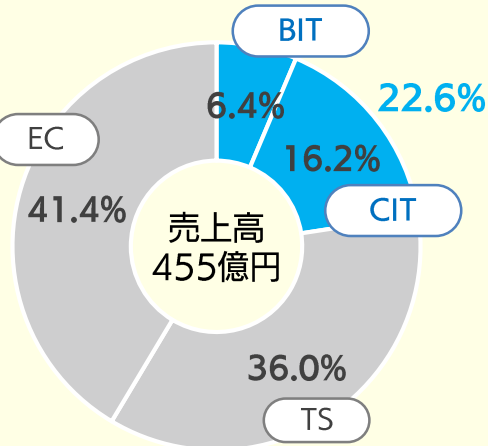
FY18

売上構成比率

限界利益構成比率



ソリューション別



※FY19以降の新ソリューション区分

第2次中期経営計画 重点テーマの進捗

最重要経営指標に向けた活動・結果 注力事業売上高 / 営業利益(率)

クラウドへの集約



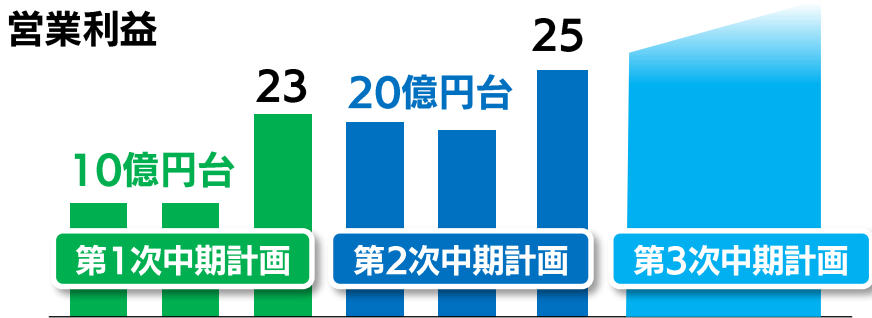
- 注力事業収益** ※期間：FY13比較（第1次中計初年度）
- 合計売上高： 約4.5倍（33→161億円）
 - 売上高成長： CAGR 35%
 - 売上高構成比： 10% → 32%
 - 限界利益構成比： 18% → 45%

IoTビジネスの開発



- PoC・サービス開発でコストが先行
- IoTの事業貢献は次期以降

強固な収益基盤確立



トピックス 取り組みの成果・実績

- 建設業、製造業の顧客基盤拡大
- クラウド累計導入実績800社超
- 自社サービスを開発



- ビル管理や鉄道事業等での実績
- 自社サービスを開発
- 新生サイバートラスト誕生



- ストック売上高の拡大
- 低採算な機器販売の戦略的撤退
- プロジェ外管理体制強化・開発手法見直し
- ビジネスIT領域で不採算PJが複数発生



第3次中期経営計画

Transformation 2021



「Vision 2030」 経営理念の策定

7月 > 8月 > 9月 > 10月 > 11月 > 12月 > 1月 > 2月 > 3月 > 4月

プロジェクト開始



07/13 SBTサミット
Vision 2030プロジェクト発表

08/01 プロジェクト概要発表
08/20 チーム発表
09/18 参加日程発表
10/01 ワーク内容発表

全社でのワーク

事前ワーク
3つの課題

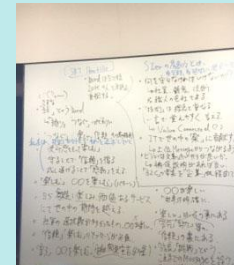


ワーク
シヨップ

約**760**名
約**130**チームで
3時間の
ワークシヨップ
(全10回)

経営幹部による検討

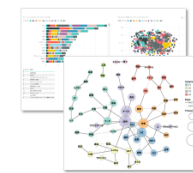
ワークの結果を踏まえ
経営幹部が全12回の討論



- 事務局との検討
- チーム別の検討
- 全体での検討

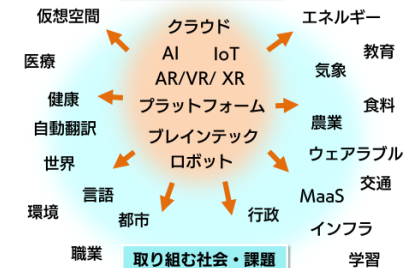
全社Visionワーク「2030の姿」の分析と情報整理

ワーク結果の情報



幅広いアイデアが明確化

活用したい技術群



4/1
発表

マクロ分析結果

世の中の動向

- 労働人口減少 / 少子高齢化
- IT / セキュリティ人材不足
- サイバー攻撃増加（東京五輪）
- マイナンバー / 個人情報保護法
- サイバーセキュリティ基本法
- NOTICE(IoT) / GDPR対応
- ロボット、ドローン、自動運転車進化
- 5G、AI、IoT、xR、RPAの普及
- オンプレシシステムのEOLの波

SBT親会社の動向・変化

- 親会社の異動（ソフトバンク株式会社へ）
- 国内事業シナジーの創出がテーマ
- ソフトバンク株式会社上場
- ソフトバンク・ビジョン・ファンドとソフトバンク株式会社の連携による国内JV推進

顧客の動向・課題

ビジネスIT(BIT)

- 不確定・変化のスピードに合わせた事業戦略遂行
- 競争力強化のための先端技術を活用
- 事業のグローバル化

コーポレートIT(CIT)

- 本業成長のための事業部門向けIT支援
- クラウドファースト / 業務アウトソース加速
- 働き方改革推進のためのIT利活用

- DX推進の支援
- IoT協創
- グローバルセキュリティ

機会

- 親会社連携の強化

機会

- アウトソース拡大
- 対応社数増加

機会

現在のSBT強み・特徴

- Cloud & SECの技術力
- 自社サービス群 (clouXion, MSS)
- グローバルSOC
- 建設・製造業での実績
- デバイスからクラウドまでIoT対応可能

新たな経営理念

Mission

存在意義

情報革命で人々を幸せに

～技術の力で、未来をつくる～

Vision

目指す姿

**多様な働き方と挑める環境で先進技術と創造性を磨き、
社会に新しい価値を提供し続ける**

Value

価値観・行動指針

3つの視点 × 3つのアクションで
多様性を認め合う

成長

信頼

価値



たのしむ

つくる

つなぐ

長期目標と 新3か年計画の 位置付け

長期目標

- 日本企業の競争力を高める
クラウドコンサル&サービスカンパニーへ
- クラウド&セキュリティ No.1
 - 先端技術と創造性でグローバルビジネスをお客様と協創

店頭公開

東証一部上場

1999

2006

2012

2013

2014

2015

2016

2017

2018

EC、IT商材の販売・構築

システムインテグレーション

プラットフォームソリューション

ECサービス

第1次中期計画

注力領域の設定



事業改革



事業規模 独自技術 管理体制

第2次中期計画

クラウドへの集約



IoTビジネスの開発



第3次中期計画 重点テーマ

サービスプロバイダーへの進化



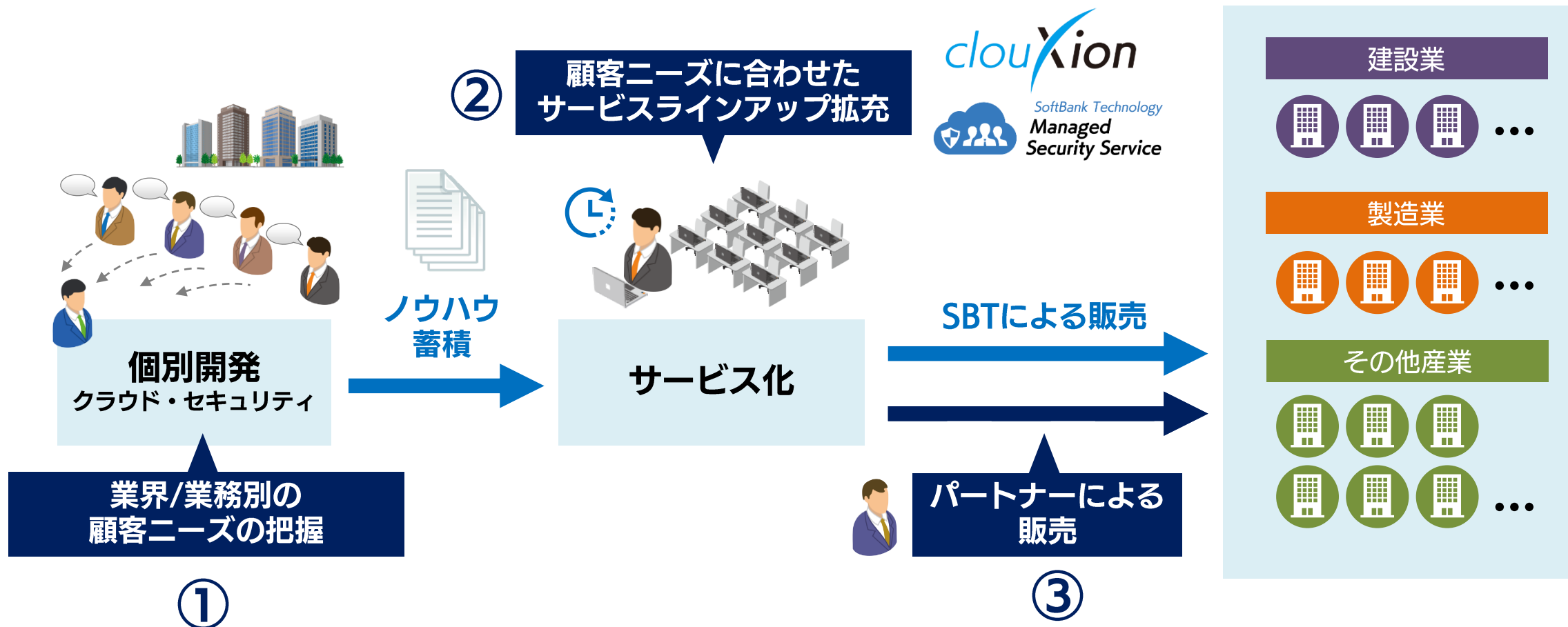
コンサルティング&ビジネスITの創出



重点テーマ(1) サービスプロバイダーへの進化



- ① サービス化につながるシステム開発に集中
- ② クラウド&セキュリティのサービス化推進
- ③ パートナーセールスの確立と強化



重点テーマ(2) コンサルティング&ビジネスITの創出



- ① 既存ビジネスのクラウド・DX推進
- ② IoTや先端技術を活用した新ビジネスの協創
- ③ スクラム開発の浸透

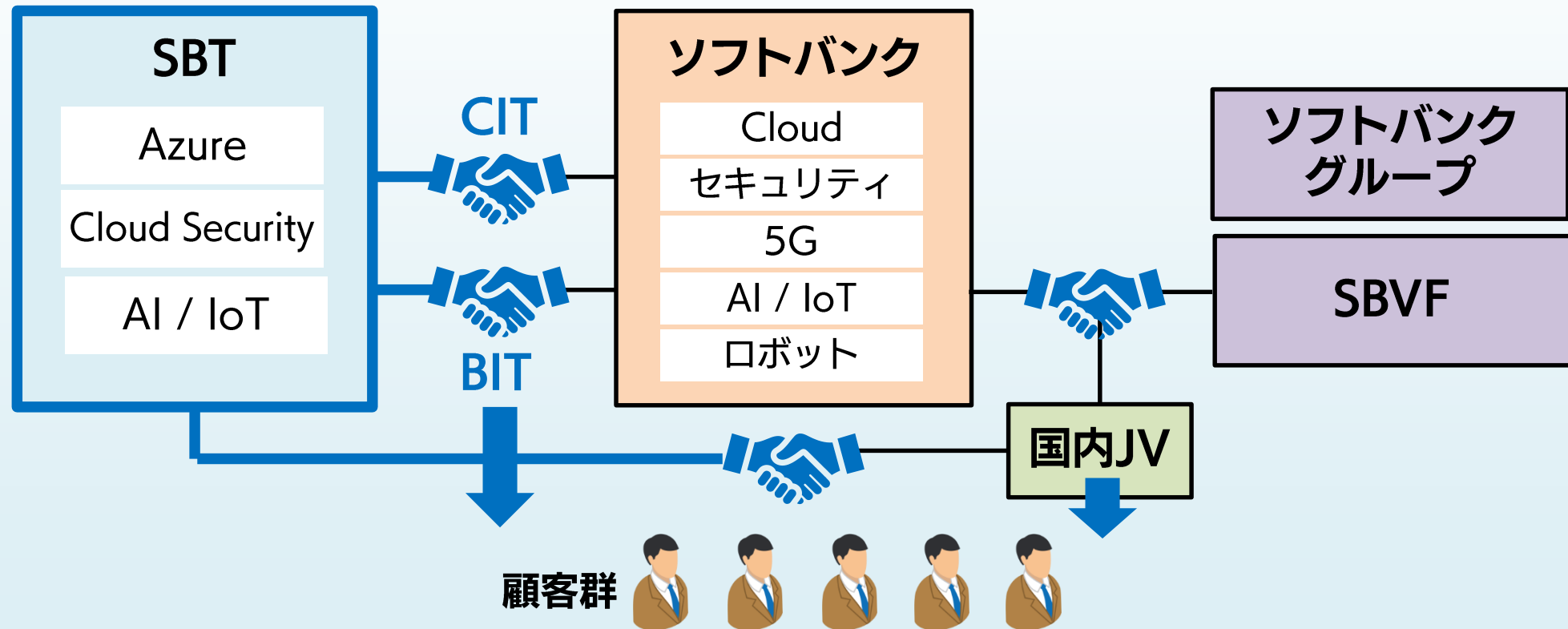


③ ウォーターフォール開発中心からスクラム開発にシフト

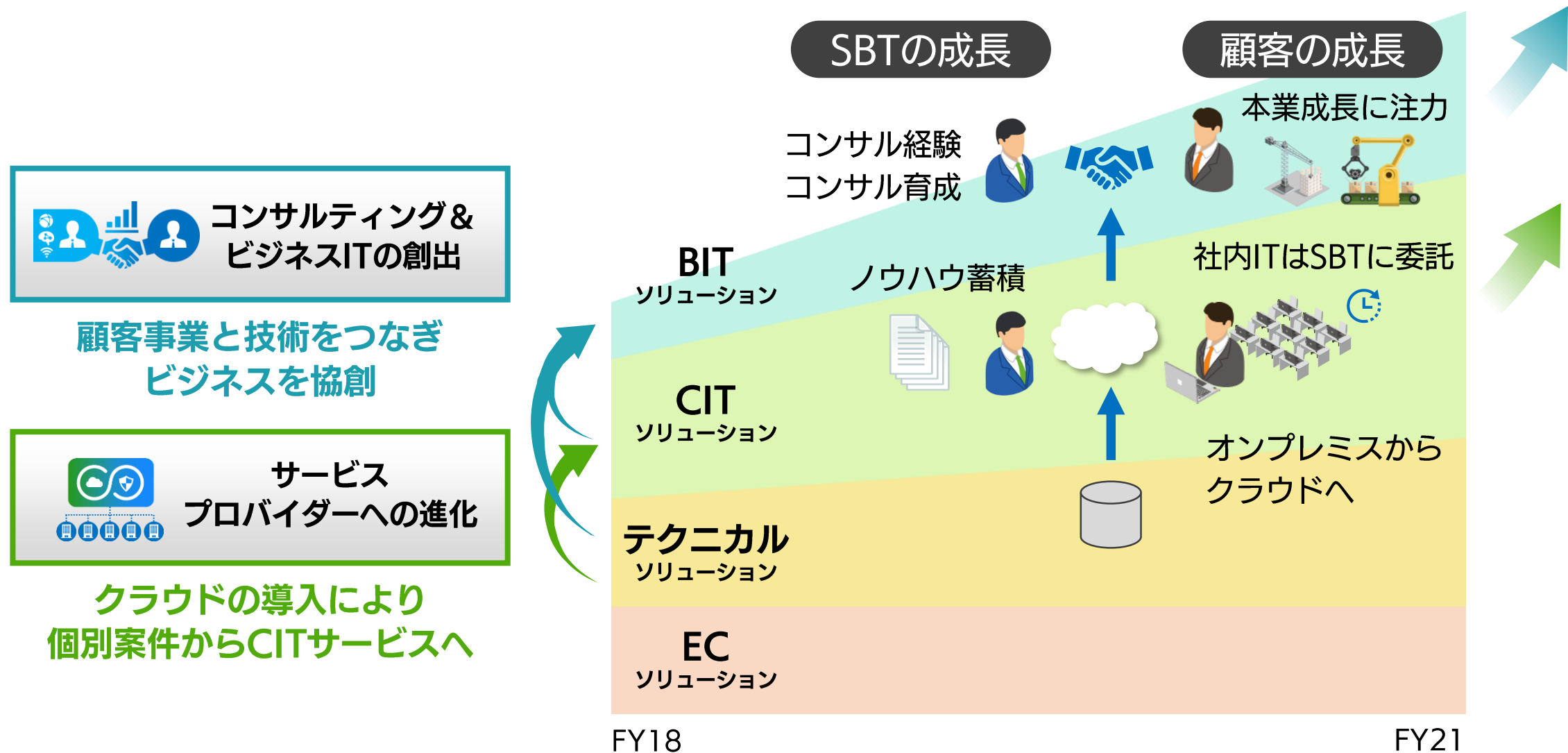
ビジネス機会：ソフトバンク株式会社との連携強化

● 国内事業シナジーの創出がテーマ

- ✓ SBTが注力してきた技術領域とソフトバンクの事業領域の協業
- ✓ ソフトバンク・ビジョン・ファンド(SBVF)の国内JV事業への技術/ビジネス支援機会



BIT・CITで売上高構成比率50%を目指す



目標とする経営指標、重点テーマ

FY21 経営指標

- 営業利益 **43億円** (FY18/25億円を起点にCAGR 20%)
- BIT&CIT売上高構成比率 **50%へ**
- ROE **13%**

【重点テーマ】

サービス
プロバイダーへの進化



- ① サービス開発につながるシステム導入と開発案件に集中
- ② エンタープライズ向けクラウド&セキュリティサービスの拡充
- ③ パートナーセールスの確立と強化

コンサルティング
& ビジネスITの創出



- ① 既存ビジネスのクラウド・IoT化
- ② IoTを活用した新ビジネスの協創
- ③ スクラム開発の浸透

企業価値の向上を図りながら、安定配当の方針

FY18
予想

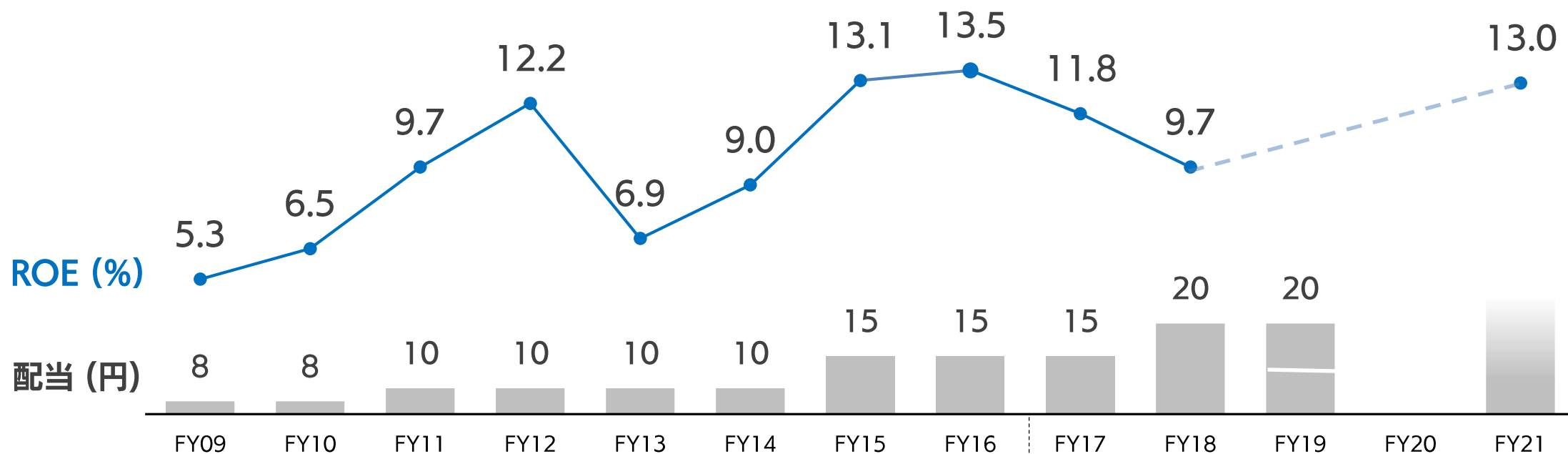
1株 15円 ⇒ 20円

FY19
予想

1株20円、中間と
期末配当の2回に分割

FY21

ROE：13%を目標



2017年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で
株式分割を行い、配当額を調整しております。



資料留意事項

1. 一部のソリューションに関するサービス区分の見直しを行ったため、各サービス区分の前期以前の売上高及び限界利益の金額は現在の計上方法に則して算出しております。
2. 本資料に記載した各種グラフ内に表示している数値については、その端数処理の関係から、各種グラフ内の数値と決算短信に記載した数値に乖離が出ている場合があります。
3. 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等を当第1四半期の期首から適用しております。

免責事項

本資料に記載されている計画、見通し、及びその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、様々なリスク及び不確実性が内在しています。実際の業績等は経営環境の変化等、様々な要因により、これら見通しと大きく異なる可能性があります。

また、本資料は当社グループの業績や事業進捗等に関する情報提供を目的としており、当社及び当社グループ会社の株式の購入や売却を勧誘するものではありません。

本資料に掲載されている会社名、ロゴ、サービス名等は、当社、当社グループ会社、または該当する各社の商標または登録商標です。

情報革命で人々を幸せに

～ 技術の力で、未来をつくる ～

 SoftBank Technology